

Japanese Utility Model Publication No. UM HEI 4-103473 - A

(Utility Model No. 2512658) published on September 7, 1992

Applicant: Daiwa Seiko Kabushiki Kaisha

Inventor: Masayuki Makino

Application No. UM HEI 3-10767

Filing Date: February 7, 1991

Summary of the invention:

A spool having a first spool unit (1) having a ring-shaped (disc-like) fish line winding body (3), wherein a second spool unit (8) having a ring-shaped (disc-shaped) fish line winding body is provided inside of the first spool unit. A flange (2) is formed at each end of the first spool unit (1). A flange (7) is also formed at each end of the second spool unit (8). The second spool (8) is provided to freely slide at the axial direction of the first spool (1). The second spool (8) is provided inside of the first spool unit (1) in a manner that the second spool (8) can not be detached from the first spool unit (1).

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-103473

(43) 公開日 平成4年(1992)9月7日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 0 1 K 97/06	5 0 1	6572-2B		

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

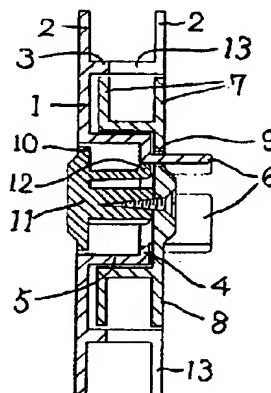
(21) 出願番号	実願平3-10767	(71) 出願人	000002495 ダイワ精工株式会社 東京都東久留米市前沢3丁目14番16号
(22) 出願日	平成3年(1991)2月7日	(72) 考案者	牧野 正幸 東京都東久留米市前沢3丁目14番16号ダイ ワ精工株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 横田 実久

(54) 【考案の名称】 釣用仕掛巻

(57) 【要約】

【目的】 糸巻に巻回収納した仕掛を有する釣糸を仕掛に引掛らないようにして容易に糸巻から取出す。

【構成】 両側フランジ2・2を有する糸巻1の糸巻胴部3の内部に第2糸巻8を糸巻1の軸方向に出没自在に嵌合すると共に第2糸巻8はその引出し時に糸巻1から離脱しないように係止し、仕掛及びその部分の釣糸は第2糸巻8を突出させてこれに巻回した後第2糸巻8を糸巻胴部3内に収納し、その他の釣糸は糸巻1に巻回して使い分ける。



(2)

実開平4-103473

1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 両側にフランジを有する糸巻の糸巻胴部内部に、両側にフランジを設けた第2糸巻を軸方向に出没自在に嵌合係止したことを特徴とする釣用仕掛巻。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の縦断正面図。

【図2】 同側面図。

【図3】 同使用状態の縦断正面。

【図4】 同使用状態における第3図A-A線縦断面図。

【図5】 本考案の別実施例の側面図。

【図6】 同縦断正面図。

【図7】 同使用状態の縦断正面図。

【図8】 本考案の更に他の実施例の縦断正面図。

【符号の説明】

- 1 糸巻
- 2 フランジ
- 3 糸巻胴部
- 7 フランジ
- 8 第2糸巻

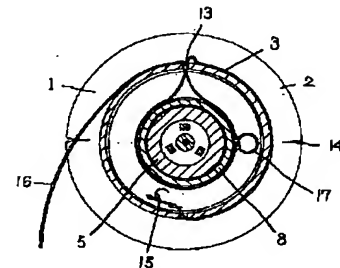
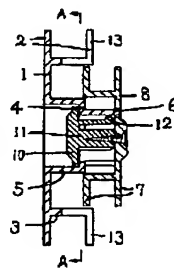
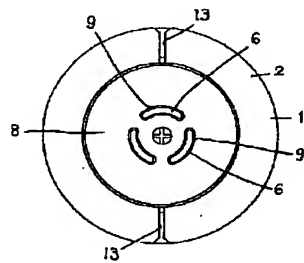
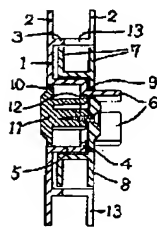
10

【図1】

【図2】

【図3】

【図4】



【図5】

【図6】

【図7】

【図8】

